

在校生送辞

厳しい寒さも次第に和らぎ、暖かな春の訪れを感じられる季節となりました。空を飛び交う小鳥のさえずり。暖かい春の光。今にも開こうとしている桜のつぼみ。その全てが三年生の皆様の旅立ちをお祝いしているように感じております。

本日晴れてこの木更津総合高等学校卒業式を迎えられた卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。卒業式を迎えられた今日、先輩方の脳裏には総合高校でのかけがえのない思い出が走馬燈のように駆け巡っている事でしょう。そして私達在校生も、先輩方と過ごしたかけがえのない日々が蘇って参ります。三年前の四月、先輩方は新型コロナウイルス感染症の流行により世界情勢が大変厳しい中不安を抱えながらこの木更津総合高等学校へ入学されました。一年生が始まり、すぐ緊急事態宣言が発出され、学校は休校になってしまいました。その後も政府より様々な学校行事は制限されてしまいました。そのような厳しい状況にも負けず何事にも一生懸命に取り組んでいる皆様の姿を私達はいつも頼もしく見ておりました。私達在校生の様々な感動や笑いで溢れた思い出の中にいつも先輩方のお姿がありました。

皆様と一緒に過ごした思い出の中で一番印象に残っているのは本校最大行事真心祭です。体育の部では各クラス、各色切磋琢磨し合いながら、競い合う姿が今でも目に焼き付いております。そして、仲間の為に応援し一生懸命に取り組んでいる姿を見て、私達後輩も大いに盛り上がる事ができました。

文化の部では、クラス企画・模擬店とどれも大いに活気溢れるものばかりでありましたが、皆様の模擬店はひととき賑わっておられました。自分達のクラスだけではなく全校の為に試行錯誤をし、楽しませて下さるその姿に大変感銘を受けました。

私達にとって先輩方はこの木更津総合高等学校において大きな存在でもあり、尊敬する存在でもありました。今まで私達を先導して下さったことに大変感謝をしております。我々在校生は皆様から様々な事を学ばせていただきました。「目標に向かい一生懸命に努力することの大切さ」これは特に印象に残り、私達の心に深く刻み込まれました。

先輩方が熱い想いを持って築き上げてこられた伝統は確実に私達が受け継ぎ、木更津総合高等学校の更なる発展の為、努力していく覚悟であります。私の好きな言葉にこのような言葉があります。「That diploma you hold in your hands today is the ticket to the rest of your life. (今日あなたが持っているその卒業証書はあなたの残りの人生を送るための免許証だ。)」皆様はこの木更津総合高等学校で様々なことを学び、今後の教訓を培われたと思います。その学び培ったものを活かしていけることを心よりお祈りしております。最後に今までの感謝の意を表明すると共に、皆様の更なる御活躍・御発展を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

2023年3月1日

在校生代表 鈴木 明輝